

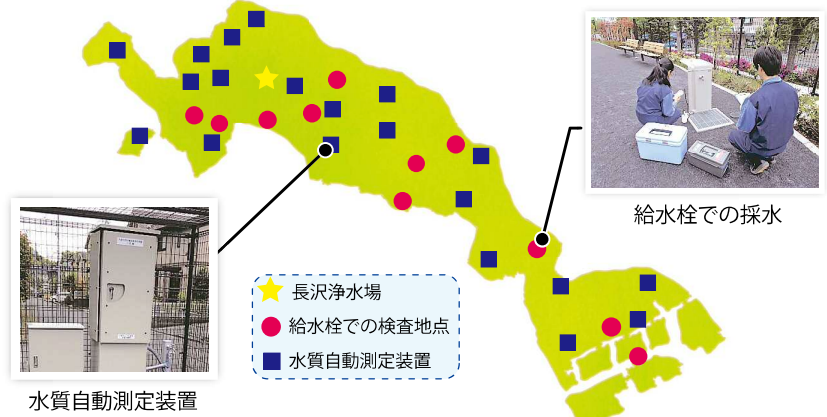
令和3年度水質検査計画を策定しました

上下水道局では、安全で良質な水を皆さまにお届けするために、水源から浄水場、給水栓（蛇口）に至るまで定期的に水質検査を実施し、水道水の安全管理に努めています。このたび、令和3年度に実施する水質検査の項目、頻度、地点などを示した「令和3年度水質検査計画」を策定しましたのでお知らせします。詳細については上下水道局ウェブサイト、情報プラザでご覧いただけます。

市内11ヶ所の給水栓で検査します！

水源の種類や浄水施設・配水施設、水道水の到達時間などを考慮して選定した市内11ヶ所の給水栓で、下記で紹介する水道水質基準51項目の検査及びその他水質管理上必要とした検査を行います。

また、1日1回以上の検査が義務付けられている色と濁り、消毒の効果などは、市内20ヶ所に設置した水質自動測定装置により24時間連続して測定します。これらの検査結果は、毎月ウェブサイトに掲載します。



水質基準は51項目！

水道水は、水質基準に適合するものでなければならず、水道法により検査の義務が課されています。水質基準は、人体への安全性を考慮して定められた健康に関する31項目と、色、濁りなどの生活に使用することを考慮して定められた性状に関する20項目の計51項目で構成されています。



表の1～31が健康に関する項目、32～51が性状に関する項目だよ。各項目についての詳しい内容は上下水道局ウェブサイトで確認してみよう。

項目	水質基準値	検査頻度(回/年)	項目	水質基準値	検査頻度(回/年)	項目	水質基準値	検査頻度(回/年)
1 一般細菌	1mL中集落数100以下	12	18 テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下	4	35 銅及びその化合物	1.0mg/L以下	4
2 大腸菌	検出されないこと	12	19 トリクロロエチレン	0.01mg/L以下	4	36 ナトリウム及びその化合物	200mg/L以下	4
3 カドミウム及びその化合物	0.003mg/L以下	4	20 ベンゼン	0.01mg/L以下	4	37 マンガン及びその化合物	0.05mg/L以下	4
4 水銀及びその化合物	0.0005mg/L以下	4	21 塩素酸	0.6mg/L以下	12	38 塩化物イオン	200mg/L以下	12
5 セレン及びその化合物	0.01mg/L以下	4	22 クロロ酢酸	0.02mg/L以下	4	39 カルシウム、マグネシウム等(硬度)	300mg/L以下	4
6 鉛及びその化合物	0.01mg/L以下	4	23 クロロホルム	0.06mg/L以下	4	40 蒸発残留物	500mg/L以下	4
7 ヒ素及びその化合物	0.01mg/L以下	4	24 ジクロロ酢酸	0.03mg/L以下	4	41 陰イオン界面活性剤	0.2mg/L以下	4
8 六価クロム化合物	0.02mg/L以下	4	25 ジブロモクロロメタン	0.1mg/L以下	4	42 ジェオスミン	0.00001mg/L以下	適宜
9 亜硝酸態窒素	0.04mg/L以下	12	26 臭素酸	0.01mg/L以下	4	43 2-メチルイソボルネオール	0.00001mg/L以下	適宜
10 シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01mg/L以下	4	27 総トリハロメタン	0.1mg/L以下	4	44 非イオン界面活性剤	0.02mg/L以下	4
11 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/L以下	12	28 トリクロロ酢酸	0.03mg/L以下	4	45 フェノール類	0.005mg/L以下	4
12 フッ素及びその化合物	0.8mg/L以下	12	29 ブロモジクロロメタン	0.03mg/L以下	4	46 有機物(全有機炭素TOCの量)	3mg/L以下	12
13 ホウ素及びその化合物	1.0mg/L以下	4	30 ブロモホルム	0.09mg/L以下	4	47 pH値	5.8以上8.6以下	12
14 四塩化炭素	0.002mg/L以下	4	31 ホルムアルデヒド	0.08mg/L以下	4	48 味	異常でないこと	12
15 1,4-ジオキサン	0.05mg/L以下	4	32 亜鉛及びその化合物	1.0mg/L以下	4	49 臭気	異常でないこと	12
16 トリス(1,2-ジクロロエチレン)及びトリス(1,1,2-ジクロロエチレン)	0.04mg/L以下	4	33 アルミニウム及びその化合物	0.2mg/L以下	4	50 色度	5度以下	12
17 ジクロロメタン	0.02mg/L以下	4	34 鉄及びその化合物	0.3mg/L以下	4	51 濁度	2度以下	12

川崎市上下水道局 水質検査計画

水道水質課 ☎ 044-911-3005 ㊚ 044-900-9545

めざせ水道博士！ ウォーター水道クイズ

Q1

川崎市に水道が引かれて、今年で何年目になるでしょう。

①80年
②100年
③120年

Q2

長沢浄水場で有効利用している再生可能エネルギーはなんでしょう。

①地熱発電
②風力発電
③太陽光発電

Q3

川崎市で作られている飲み水の水源となっている川はどこでしょう。

①相模川
②鶴見川
③多摩川

Q4

水道水を汲み置きするとき、より長持ちさせるためにはどのようにするとよいでしょう。

①水道水をそのまま容器に詰める
②沸騰させた水道水を容器に詰める
③浄水器を通した水道水を容器に詰める

Q5

世界の水環境改善に貢献するため、川崎市が取り組んでいることはなんでしょう。

①海外に浄水場を建設する
②海外に水道管整備のための資金援助を行う
③海外に職員を派遣し技術協力をを行う

Q1 本市の水道事業は、1921(大正10)年に多摩川から取水した水を戸手浄水場(現在幸区役所がある場所)で処理し、給水を開始したことから始まりました。答え②

戸手浄水場

Q2 地球温暖化対策への取組として、長沢浄水場の敷地内には太陽光パネルが設置されています。太陽光により発電された電力は、長沢浄水場内で使用されています。答え③

長沢浄水場の太陽光パネル

Q3 川崎市の飲み水は、相模川水系と酒匂川水系を水源としており、多摩川の水は工業用水に使用しています。答え①

水源のひとつである相模川

Q4 水道水は、直射日光を避けた涼しい場所に保管すれば3日程度、冷蔵庫に保管すれば10日程度保存できます。沸騰させたり浄水器を通すと塩素の消毒効果がなくなってしまうので、水道水をそのまま保管してください。答え①

清潔でふたのできる容器に、空気に触れないよう口元いっぱいまで水を入れましょう。

Q5 蛇口から安心して水道水を飲めるのは、世界196か国のうちわずか12か国*です。川崎市は、独立行政法人国際協力機構(JICA)などの要請に応じて、職員の海外派遣や海外からの研修生受入れによる技術協力をを行い、開発途上国の社会や経済発展に貢献しています。答え③

*出典：国土交通省「令和2年版 日本の水資源の現況」